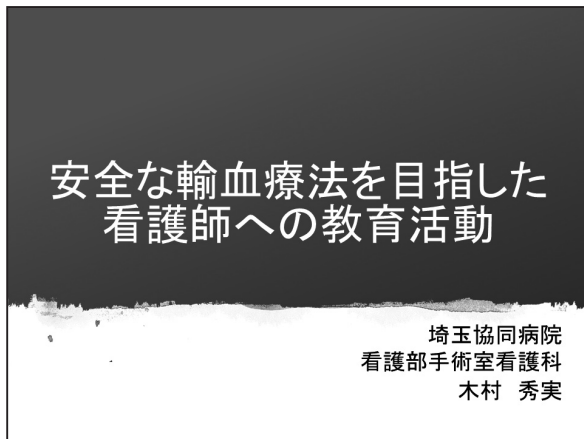


## 報告2 安全な輸血実施を目指した看護師への教育活動

### (輸血業務検討小委員会報告)

演者：木村 秀実 埼玉協同病院 看護部手術室

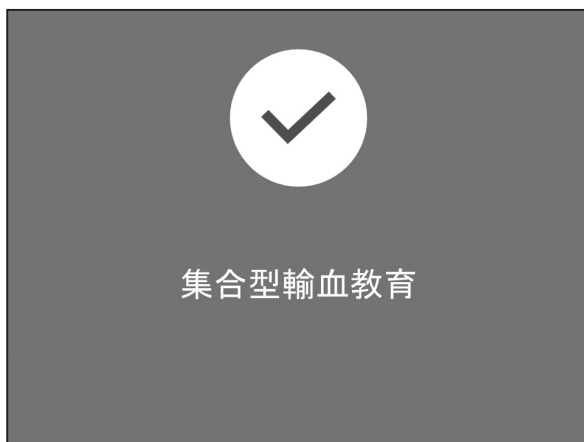
スライド1



座長：次の演題へ。安全な輸血療法を目指した看護師への教育活動ということで、木村さんお願いします。

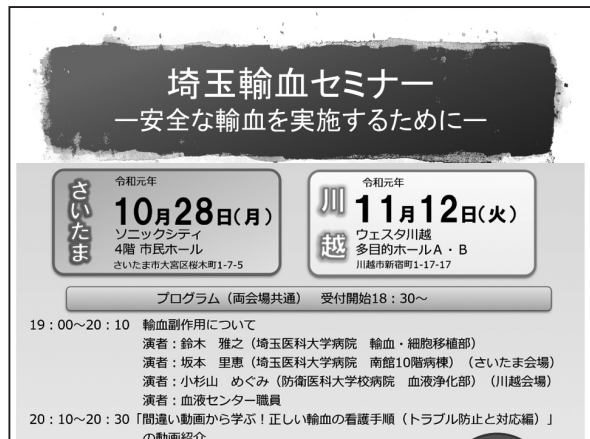
演者：よろしく申し上げます。本日は安全な輸血療法を目指した看護師への教育活動ということで、看護師部会の活動報告をさせていただきます。

スライド2



まず、最初に集合型研修会についてお話をさせていただきます。

スライド3

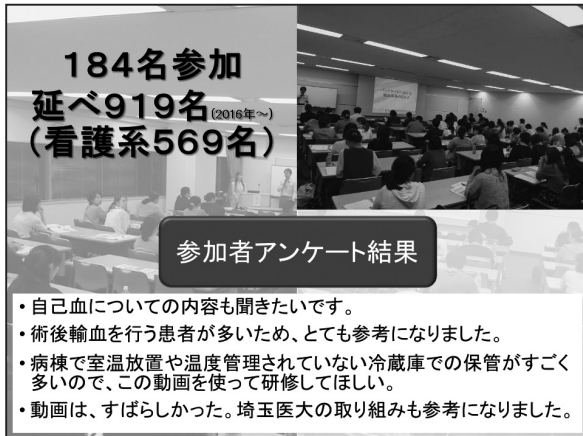


看護師部会では埼玉県赤十字血液センターとコラボレーションをして2016年より、埼玉輸血セミナー(安全な輸血を実施するために)という集合型の研修会を行っています。

2019年の内容としては、輸血副作用について臨床検査技師、看護師、血液センターのそれぞれの立場からお話をしてもらいました。

また、その後には、看護師部会が作成する動画の続編「間違い動画から学ぶ！正しい輸血の看護手順(トラブル防止と対応編)」を紹介して共有しました。この動画には「RBCは室温に戻した方が良いのか？」などの内容が盛り込まれています。

## スライド 4



**184名参加  
延べ919名  
(2016年～)  
(看護系569名)**

**参加者アンケート結果**

- 自己血についての内容も聞きたいです。
- 術後輸血を行う患者が多いため、とても参考になりました。
- 病棟で室温放置や温度管理されていない冷蔵庫での保管がすごく多いので、この動画を使って研修してほしい。
- 動画は、すばらしかった。埼玉医大の取り組みも参考になりました。

セミナーには 184 名の参加があり、2016 年から延べ 919 名、看護系は 569 名の方が参加しています。

参加者からのアンケート結果ですが、

「自己血についての内容も聞きたい」

「術後輸血を行う患者が多いため、とても参考になった」

「病棟で室温放置や温度管理されていない冷蔵庫での保管がすごく多いので、この動画を使って研修してほしい」

「動画は、すばらしかった。埼玉医大の取り組みも参考になった」などの意見もありました。

## スライド 5



**看護協会との連携**

公益社団法人 埼玉県看護協会

ホーム 協会案内 研修案内 県民の皆様へ 看護職の皆様へ ナ

公益社団法人 埼玉県看護協会 トップ > 研修一覧・お申込み > 038: 輸血の知識と安全な実施

038: 輸血の知識と安全な実施

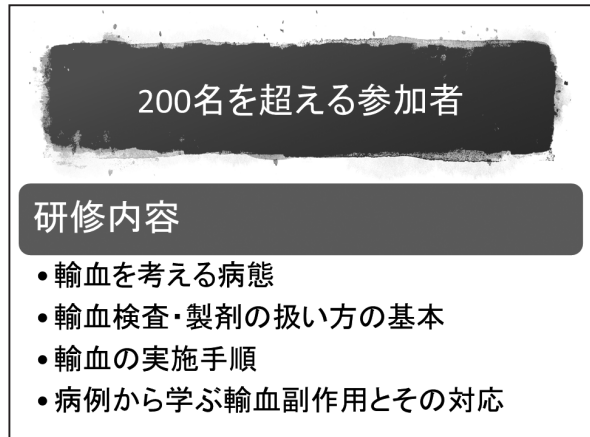
研修のねらい: 安全な輸血を実施するための基礎知識の理解と、輸血実施時の注意点を学ぶ

そして、新たな試みである看護協会との連携についてです。2018 年から埼玉県看護協会と連携を取り、輸血の知識と安全な実施という研修を始められています。

2019 年より講師を看護師部会が担当させてもらっています。

研修のねらいは安全な輸血を実施するための基礎知識の理解と、輸血実施時の注意点を学ぶということを目的としています。

## スライド 6



**200名を超える参加者**

**研修内容**

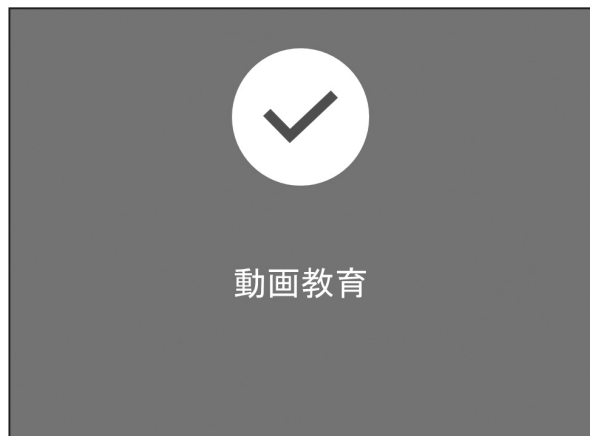
- 輸血を考える病態
- 輸血検査・製剤の扱い方の基本
- 輸血の実施手順
- 病例から学ぶ輸血副作用とその対応

この研修には 200 名を超える参加者がありました。

研修の内容としては

- 輸血を考える病態
- 輸血検査・製剤の扱い方の基本
- 輸血の実施手順
- 病例から学ぶ輸血副作用とその対応という内容で実施しています。

## スライド 7



**動画教育**

次に動画教育についてお話をさせていただきます。

スライド 8



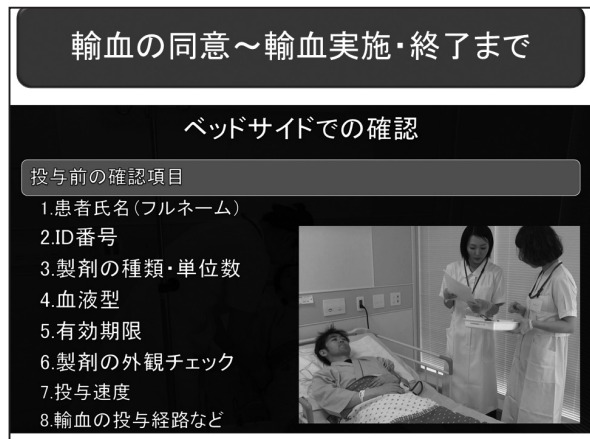
2018年に「間違い動画から学ぶ！正しい輸血の看護手順（基本編）」という輸血の基礎が学べる動画を作成しました。

スライド 9



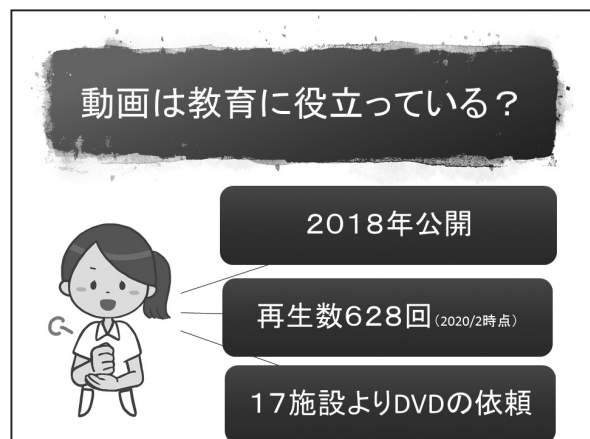
この動画は間違った方法を動画で紹介し、そのあとに正しい方法を解説するという構成で出来ており、輸血の同意～輸血の実施・輸血終了までが学べる内容になっています。

スライド 10



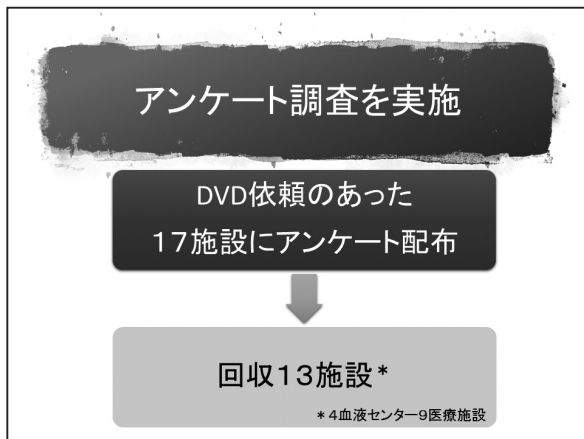
少し内容を見てみると、このようにベッドサイドでの確認の項目では、患者さんの氏名やID番号、製剤の種類や実施単位、血液型、有効期限など正しい方法を解説しています。

スライド 11



この動画は2018年に公開をしていますが、2020年2月時点で628回再生されています。また、17施設よりDVDが欲しいとの依頼がありました。公開から2年経ちましたので、実際に教育に役立っているのかを確認する必要があります。

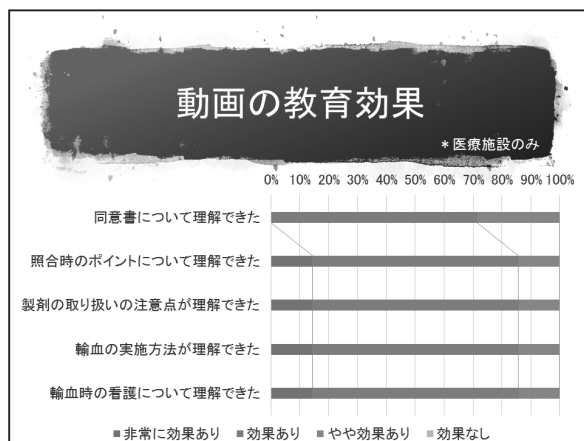
スライド 12



そこで、DVDの依頼のあった17施設にアンケート調査を行いました。

回収は13施設で血液センター4、医療機関が9となっています。

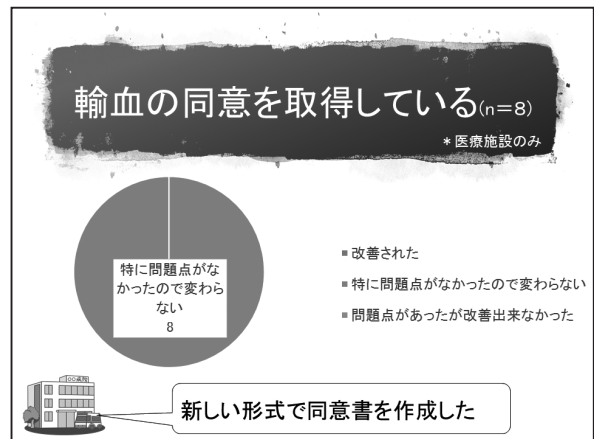
スライド 13



結果です。まず、動画の教育効果ですが70～85%とが非常に効果あり・効果ありとの回答でした。

効果なしとの回答はありませんでした。

スライド 14

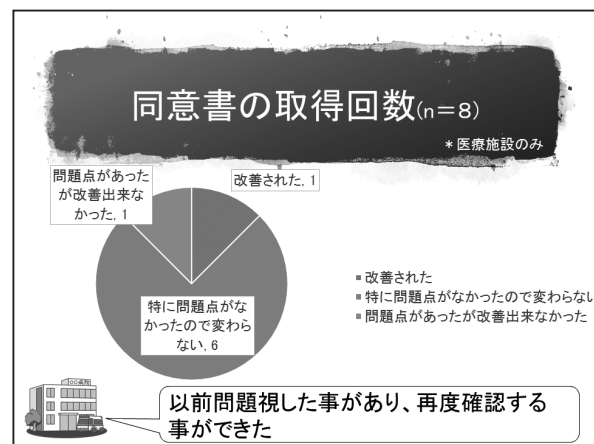


内容を詳しく見ていきたいと思います。

輸血の同意を取得しているという項目ではすべての施設が「特に問題がなかったので変わらない」という回答でした。

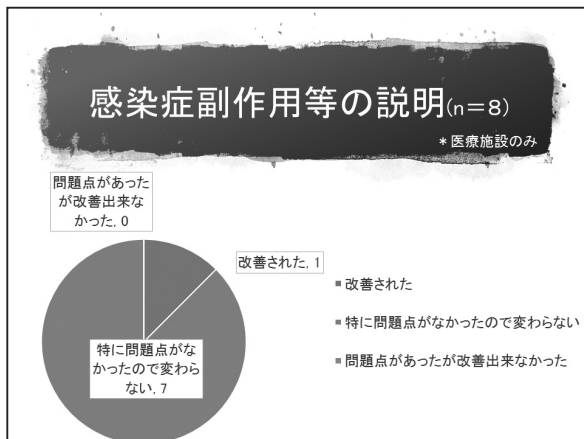
中には新しい形式で同意書を作成したという回答もありました。

スライド 15



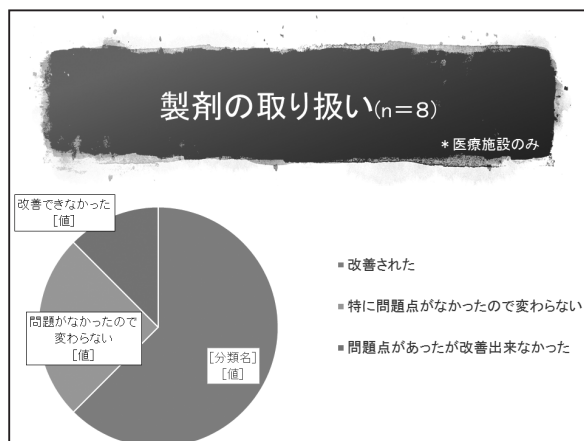
同意書の取得回数に関してですが、「改善された」が1施設、「特に問題がなかったので変わらない」が6施設、「問題があったが改善できなかった」が1施設でした。動画により同意書の取得についての改善もみられましたが、詳しい回答がありませんでしたが、改善ができなかったという施設もみられました。

スライド 16



感染症副作用等の説明については「特に問題がなかった」が7施設、改善内容の詳細は記入がなかったので不明ですが、「改善された」が1施設という結果でした。

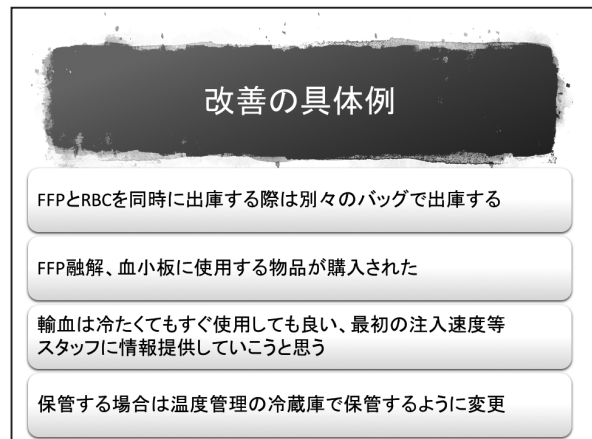
スライド 17



製剤の取り扱いですが、「改善されたが」5施設、「問題がなかった」が2施設、「問題があったが改善できなかった」が1施設でした。

改善できなかったという回答がありましたでしたが今回のアンケートでは詳しい内容は不明でした。

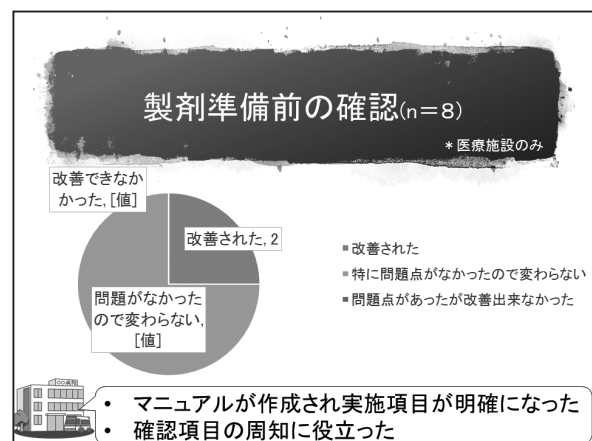
スライド 18



そして、改善されたという施設からの回答ですがこのような回答が返ってきています。

- FFP と RBC を同時に出庫する際は別々のバッグで出庫する。
- FFP 融解、血小板に使用する物品が購入された。
- 輸血は冷たくてもすぐ使用しても良い、最初の注入速度等スタッフに情報提供していこうと思う。
- 保管する場合は温度管理の冷蔵庫で保管するように変更したという改善がされているという回答でした。

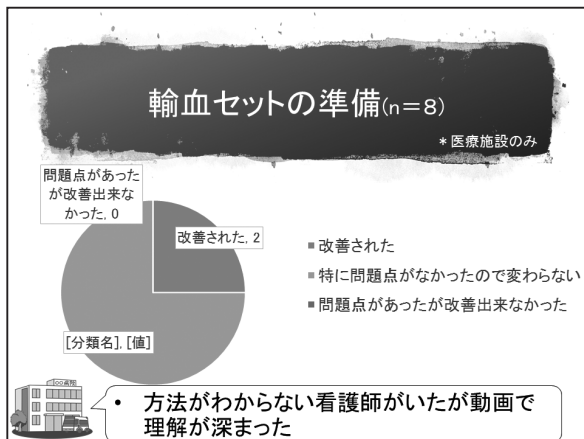
スライド 19



製剤準備前の確認ですが、「改善された」が2施設「問題がなかった」が6施設でした。

- 改善された2施設からの回答としてはマニュアルが作成され実施項目が明確になった。
- 確認項目の周知に役立ったという回答がありました。

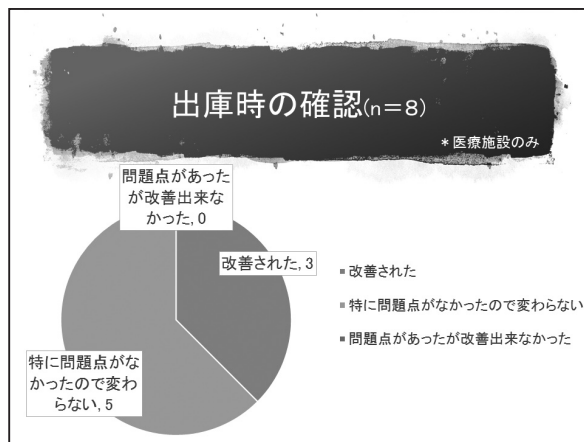
スライド 20



輸血セットの準備こちらの項目は「問題がなかった」が6施設、「改善された」が2施設でした。

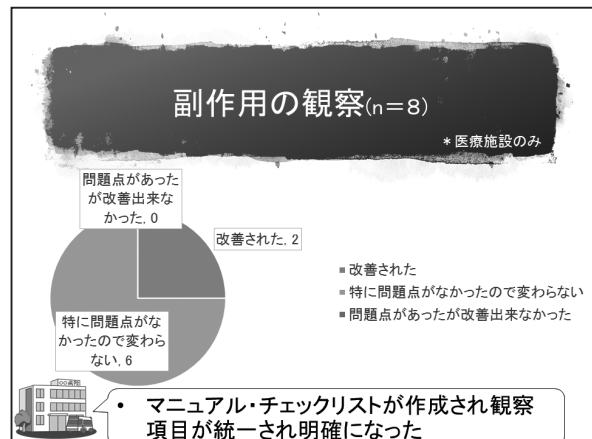
改善のあった施設からは方法がわからない看護師がいたが、動画で理解が深まったという回答がありました。

スライド 21



出庫時の確認については「問題がなかった」が5施設、改善された内容は記載がありませんでしたが、「改善された」が3施設でした。

スライド 22

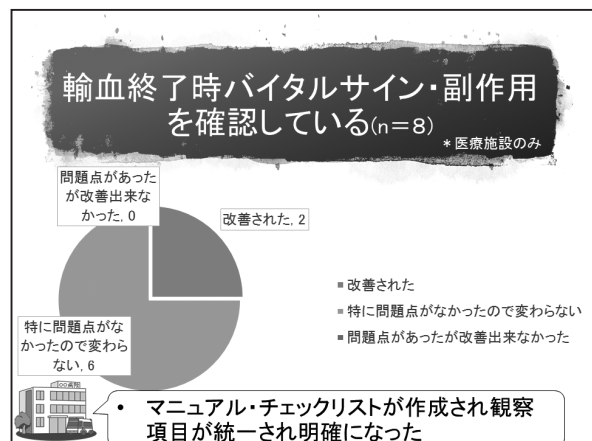


副作用の観察については「問題がなかった」が6施設、「改善された」が2施設でした。

改善されたという施設からは

- マニュアル・チェックリストが作成され観察項目が統一され明確になったという回答がありました。

スライド 23

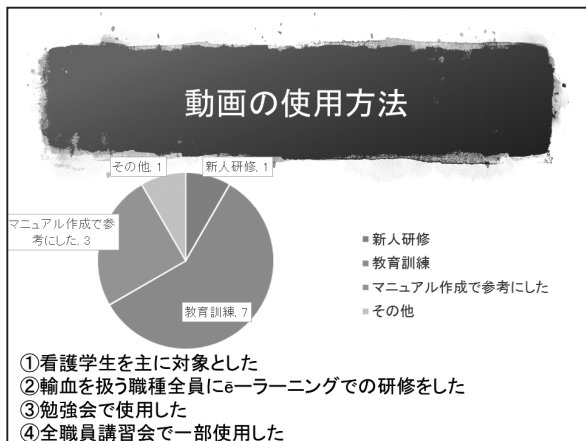


輸血終了時バイタルサイン・副作用を確認しているについては「問題がなかった」が6施設、「改善された」が2施設でした。

こちらも同じ施設からですが、

- マニュアル・チェックリストが作成され観察項目が統一され明確になったという回答がありました。

スライド 24



動画の使用方法ですが、「新人研修」が 1 施設、「教育訓練」が 7 施設「マニュアル制作で参考にした」が 3 施設「その他」が 1 施設でした。

そのほかにも

- ①看護学生を主に対象とした
- ②輸血を扱う職種全員に eラーニングでの研修をした
- ③勉強会で使用した
- ④全職員講習会で一部使用したという意見もありました。

スライド 25

**血液センターから**

課内で共有を行った(説明会等での使用は無し)  
わかりやすく注意すべき点が明確になっており非常に参考になった

動画閲覧により、いつでも学びたい時に学べるのは大変有意義なことだと思う

医療機関向けの過誤防止の動画があればもっとわかりやすい現場を知るうえで血液センターMRIにとっても非常に役立つ

また、各血液センターからはこのような意見をもらっています。

- 課内で共有を行った(説明会等での使用は無し) わかりやすく注意すべき点が明確になっており非常に参考になった
- 動画閲覧により、いつでも学びたい時に学べ

るのは大変有意義なことだと思う

- 医療機関向けの過誤防止の動画があればもっとわかりやすい現場を知るうえで血液センターMRにとっても非常に役立つ

スライド 26

**血液センターから**

医療機関向けの説明会等で使用したいが、時間が長いと使いづらい各項目で独立しているとより使用しやすいと感じた

短いスパンで切られた物があれば説明会の中に盛り込みたい

輸血現場でのルートの取り扱い(シュアプラグ・三方活栓など)の動画もあるとうれしいです(問い合わせの多い内容です)

- 医療機関向けの説明会等で使用したいが、時間が長いと使いづらい各項目で独立しているとより使用しやすいと感じた
- 短いスパンで切られた物があれば説明会の中に盛り込みたい
- 輸血現場でのルートの取り扱い(シュアプラグ・三方活栓など)の動画もあるとうれしい。問い合わせの多い内容だとのことでした。

スライド 27

**医療施設からの反応**

マニュアル・チェックリスト作成を作成はしていないが、スタッフ教育に役立った

「輸血は少し常温において使用の方がいい」等院内での対応があったが、DVDを見て正しい根拠をもって対応を行いたい

当院では普段、輸血を行っていないので実施の際には再確認にとっても役立つ

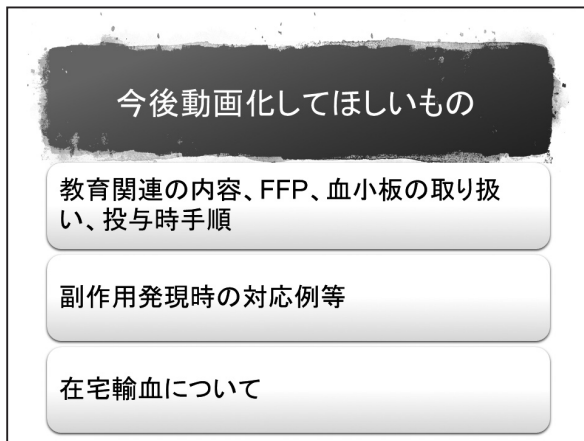
映像があるとわかりやすいとの評価があった

医療施設からの反応としては

- マニュアル・チェックリスト作成を作成はしていないが、スタッフ教育に役立った

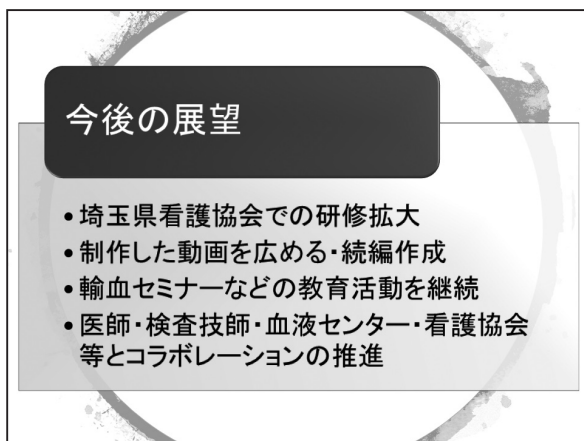
- 「輸血は少し常温において使用した方がいい」等院内での対応があったが、DVD を見て正しい根拠をもって対応を行いたい
- 当院では普段、輸血を行っていないので実施の際には再確認にとっても役立つ
- 映像があるとわかりやすいとの評価がありました。

スライド 28



そして、今後動画化してほしい物として「教育関連の内容、FFP、血小板の取り扱い、投与時手順」「副作用発現時の対応例等」「在宅輸血について」などの要望があがっています。

スライド 29

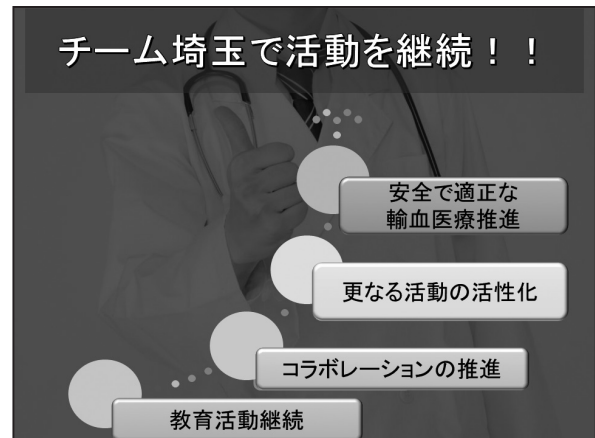


今後の展望です。  
昨年より埼玉県看護協会での研修を開始してきました。この研修ですが、今年は半日枠から 1 日に拡大していく予定です。

そして、制作した動画を広め、続編作成の制作を行いながら、輸血セミナーなどの教育活動を継続していく予定です。

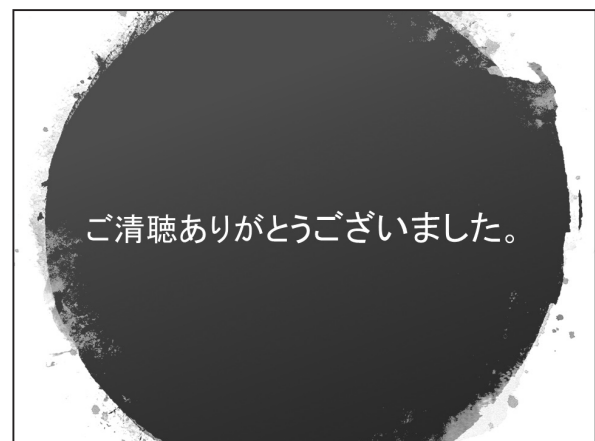
また、現在は看護師だけの活動ではありますが、医師・検査技師・血液センター・看護協会等とコラボレーションを推進していきます。

スライド 30



最後になりますが教育活動を継続し、コラボレーションの推進をすることにより、更なる活動の活性化がされます。その結果、安全で適正な輸血医療の推進がされると思いますのでチーム埼玉で活動を継続していきたいと思います。

スライド 30



演者：ご清聴ありがとうございました。



## 質 疑 応 答

- 座長      ありがとうございました。会場からご追加、ご質問ございますでしょうか。アンケート調査にもありましたが見ることによって理解力がつくので、いろいろなパターンの動画を用意されているかと思うのですが。
- 演者      異なる内容のシリーズ化をしております。
- 座長      これからもアクティブな活躍をよろしくお願いします。